

かきあそび

平成27年2月1日発行

中央区教育広報誌

No. 134

中央区教育委員会ホームページ

<http://www.city.chuo.lg.jp/kosodate/kyoukuiinkai>

トピックス

- P2** 明正小学校・明正幼稚園 新校・園舎落成式
- P4** 中央区教育振興基本計画の改訂について
- P9** 第6回中学生「東京駅伝大会」
- P10** プレディのご案内
- P11** 中央区地域家庭教育推進協会からのお知らせ
- P12** 柏学園開放のご案内

銀座中学校開校30周年記念式典

11月1日(土)



大勢の来賓を迎え、銀座中学校開校30周年記念式典を行いました。式典では3年生の代表生徒による「よろこびのことば」や全校生徒の校歌斉唱などが披露されました。

式典に続いて、生徒によるアトラクションとして、各学年代表生徒によるメッセージと、特別支援学級の生徒と2・3年生有志生徒による合唱、そして、全校生徒による合唱「絆」が披露されました。素晴らしい出来栄に来場者からは惜しみない拍手が送られました。

銀座中学校の歴史と伝統を振り返るとともに、未来に向かって新たな一歩を踏み出す日となりました。



日本橋中学校開校40周年記念式典

11月15日(土)

大勢の来賓を迎え、日本橋中学校開校40周年記念式典を行いました。

式典では代表生徒による「よろこびのことば」、校歌と合唱曲「そのままの君で」が披露されました。

式典後に行われたアトラクションでは、各学年の合唱、生徒会役員による「40年の歩み」スライド上映、吹奏楽部のマーチング演奏等どれも見応えがあり、見る者を感動させました。40年の歴史と伝統を肌で感じる1日となりました。



「あふれる自然に春の訪れ」 柏学園を開放!

毎年、桜の咲く時期に区民の皆さんに開放している柏学園は、中央区から電車で約1時間、豊かな自然に囲まれた校外学園です。

4月を迎えると、柏学園の庭では、暖かな陽気に誘われ草木が芽吹き、花を咲かせ始めます。春いっぱいの柏学園へ、皆さん一緒にお越しください。



日程

4月上旬の土曜日・日曜日を予定(桜の開花状況により変更する場合があります。)
詳細は、広報紙「区のおしらせ 中央」(平成27年3月21日号)および区ホームページにて改めてお知らせします。

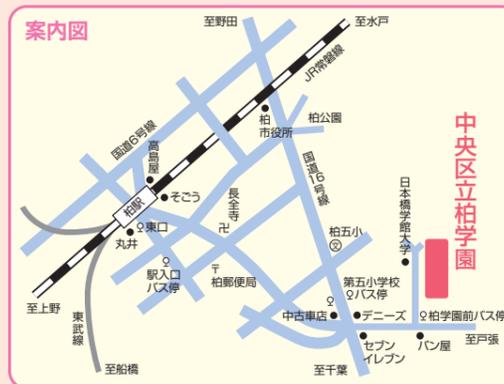
会場

中央区立柏学園

交通機関

- JR柏駅東口下車徒歩25分
 - 阪東バス「戸張」行「柏学園前」下車徒歩5分
または「大津ヶ丘団地」行「第五小学校」下車徒歩10分
- ※ご来園の際は、公共交通機関をご利用ください。

問合せ先 学務課保健給食係 ☎3546-5516



りんごをいただきました

11月25日(火)、山形県東根市から区立幼稚園の5歳児に特産であるりんごのプレゼントが届き、明石幼稚園で贈呈式が行われました。当日は、東根市果樹研究連合会と東根市経済部農林課の方々をお迎えし、代表して4名の園児が甘くて美味しそうなりんごを受け取りました。園児たちはお返しに、元気いっぱいのお礼の言葉と可愛い歌声を披露して、感謝の気持ちを伝えました。質問コーナーでは、りんごの採り方や甘くする方法など、いっぱい勉強することができました。



カンボジアへのボランティア活動を行って 月島第二小学校 ボランティア委員会

月島第二小学校のボランティア委員会では、ユニセフ募金の募集やベルマーク収集のポスター作成等さまざまな活動を行っています。今回の活動のきっかけは、卒業生の方が参加されている「カンボジアの健康及び教育と地域を支援する会」の方から、カンボジアで行っている活動や子どもたちの生活についてお聞きしたことです。ボランティア委員会の児童は、自分たちの生活との違いについて考え、10月1日(水)から3日間で鉛筆・消しゴム等を集めてカンボジアの子どもたちへ贈ることにしました。児童は、「たくさん鉛筆や消しゴムをみんなが持ってきてくれた」「人のためにやるのではなく、自分たちのためにやるんだということがよく分かり、僕たちがうれしくなりました」と話していました。



研究発表会を実施しました

久松小学校・幼稚園

主 題:豊かな心と健やかな体の育成
実施日:平成26年10月16日(木)

今年度は、特に「小集団活動」の推進を核にして、運動の機会・関わる機会の充実を図りました。「友達と関わるから自分が伸びる。自分が伸びたから友達とさらに関わる。」このような相互作用が小集団活動の良さだと感じます。この活動を通して、相手意識をもったり認め合ったりする児童が増えました。幼稚園では「多様な動きを引き出す遊び」をどう展開するか、発達段階に応じた遊び、それを実現する環境の在り方についてまとめました。外遊びを中心に元気に遊ぶ姿が増えました。幼・小の連携をより強固にし、今後も研究を深めていきたいと考えています。



阪本小学校

主 題:自ら考え共に学ぶ子どもの育成
～レッツダンス～
実施日:平成26年10月23日(木)

当日は全学級で表現やリズムダンスの授業を公開しました。中央区内外からの参観者が見守る中、子どもたちは精一杯体を動かし、全身を使って表現することができました。さまざまな身体感覚を身につけることを目標に1・2年生は忍者になって、3・4年生はリズムに合わせてノリノリに体を動かしました。5・6年生は、ダンスの特性に触れ、楽しく踊ることを目標に、動きにメリハリをつけてダイナミックに動くことを頑張りました。



豊海幼稚園

主 題:自己発揮する子どもを育てるために
～遊びにおける自己発揮～
実施日:平成26年10月28日(火)

豊海幼稚園は、都内の公立幼稚園(3年保育実施園)で最も園児数が多い大規模園です。その中で「一人ひとりの幼児が自分らしさを出し、たくましく成長してほしい」「そのための教師の援助の在り方を明らかにしたい」という思いのもと、研究活動に取り組んできました。当日は200名以上の参加者の中、公開保育とともに、これまでの研究の成果を発表しました。



常盤小学校

主 題:子どもが生き生きと学ぶ指導の工夫
～外部(大学・企業・地域等)との連携を通して～
実施日:平成26年11月7日(金)

今回の研究は、東京学芸大学・大阪教育大学・愛知教育大学・北海道教育大学が進めている4大学合同連携プロジェクトである「HATOプロジェクト」の中間発表も兼ねていました。当日は算数科・生活科・英語活動・図画工作科・家庭科でそれぞれ外部の力を生かしながら授業を進めました。外部の力に触れた児童は生き生きと学習に取り組むことができました。また、この研究を通して教師の校内研究に取り組む姿勢も変化しました。今後も常盤小学校の児童のために、研究を継続して深めていきたいと考えています。



明正小学校・明正幼稚園 新校・園舎落成式を挙行了しました

10月25日(土)、快晴のさわやかに澄みわたる空のもと、新校・園舎の落成式を挙行了いたしました。当日は、これまで改築にお力添えをいただいた学校関係者、地域の皆さまなど多くの方々にお越しいただきました。

式典では、児童による「よろこびのこぼれ」が披露されました。子どもたちは、旧校・園舎での思い出や感謝の気持ち、真新しい校・園舎での新生活への期待を、歌を交え元気いっぱい表現しました。引き続き校庭で行われたページェントでは、はな組(4歳児)・ほし組(5歳児)園児による演技と5・6年生児童による明正マーチングバンドの演技が披露されました。園児の披露する踊りは5歳児が考え、練習では4歳児に丁寧に教えながら、熱心に取り組んできました。明正マーチングバンドは、運動会や地域行事などで演奏する機会を少しずつ広げ、明正小学校の新たな歴史や伝統として根付いてきており、音楽の指導時間以外に、休み時間を利用し、練習に励んできました。力を合わせて一生懸命に取り組む子どもたちの姿にお客様から大きな拍手が湧き、落成の祝いに花が添えられました。また、式典に際して校・園舎内に授業などで作成・発表した作品を展示し、普段の活動の様子をご覧いただきました。

2学期から新校・園舎での教育活動がスタートし、活気にあふれる明正小学校・明正幼稚園のますますのご発展をお祈りいたします。



大阪佃小学校・東京佃島小学校の交流が50周年を迎えました

11月8日(土)、佃島小学校において、大阪市立佃小学校との交流50周年記念式典・交歓会が行われました。この姉妹校交流は、1965年(昭和40)年に始まりました。それ以来、毎年交互の訪問と、全校児童の間で手紙の交換を行っています。

この縁結びの由来は、江戸時代、徳川家康が大坂の佃村の漁民33名をこの地に呼び寄せ、移住させたことに始まります。「佃島」の地名の由来もここからきています。

式典では、交流50周年を記念し、これからも交流を続けていくとともに、お互いの学校の発展を願い、交流確認証の交換が行われました。また、交歓会では、佃島小学校の卒業生である佃川燕也(辰野泰)氏による「大江戸玉すだれ」の披露や代表委員による交流50周年クイズで盛り上がりしました。

午後は、佃島の散策や、浅草から浜離宮まで水上バスで隅田川下りをしました。

佃島小学校の余郷校長先生は、「佃島の起源を形作った大阪佃と引き続きよりよい交流を続けていきたいと思えます。」とお話くださいました。



中央区ならではの、中央区らしい教育を

平成26年10月6日、教育委員の竹田圭吾さんが任期2期目を迎えられました。これまでの活動の感想や今後の抱負について伺いました。

● 1期の4年間で振り返っていかがですか

教育委員になってから、努めて客観的に中央区の教育を見ようと意識をし、それまで一区民、PTAとしては気づかなかった発見がありました。その中で強く感じるのは、中央区は教育に関する条件が他の自治体より極めて恵まれているということです。住民の所得水準が高く、家庭環境も比較的穏やかで、教職員の意識やプライドも高い。伝統と先進性を兼ね備えた都市文化があり、地域の人々は歴史や伝統を大切にしつつも進取の気性に富んでいます。中央区には質の高い教育サービスを提供する素地があり、他の地域ではそういったところから取り組まねばならない自治体もあるわけで、実に恵まれていると思います。

● 特に印象に残っている活動はありますか

教育委員に就任した翌年に東日本大震災がありました。首都直下の地震が発生したとき中央区はどうするのかの問題提起となり、現場レベル、行政の担当、教育委員会のレベルで何をすべきかを考える機会となりました。中央区の施設として開放している千葉県柏市にある柏学園を視察した際、その敷地内を除染して放射性物質を測定していましたが、施設外の樹木はどうするのか、中央区の子どものことだけを考えると果たしてよいのかなど、PTAの方々と話す中で疑問を呈する声が出て、いろいろと考えさせられる経験でした。

● 2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されますが、中央区の教育に求めることはありますか

<プロフィール>
ジャーナリスト。2001年から2010年までニュースウィーク日本版編集長。現在は情報・報道番組のコメントーター等を務める。名古屋外国語大学客員教授。平成22年10月6日、教育委員に就任。



中央区は選手村ができるので当事者意識が強いのですが、個人的には、あまりオリンピックだと気負わない方がよいと考えています。イベントがあるから頑張るのではなく、子どもの日常には普通に努力すべきことがあるわけで、その変わらない部分を大切に、自然体のままでよいのではないのでしょうか。また、グローバル人材の育成がやたらと叫ばれていますが、ローカルに生きる力を伸ばす方がよい子どももいるはずで、一人ひとりの個性に合った教育サービスを提供していくのが、本来の公教育の使命としては重要性が高いと考えています。

● 2期目に向けての抱負と子どもたちへのメッセージを

今の日本の中で、中央区の教育環境がいかに恵まれているかを行政、教職員、保護者をもっと意識して、恵まれている地域だからこそ優れた教育活動を実践できるような環境づくりに、少しでも役に立ちたいと考えています。個人的には、教育行政においては「地域の個性」が非常に重要と思っているので、「よその自治体がやっているから中央区も」というのではなく、中央区の特性を理解した上で、「中央区の子どもたちはこのように育てほしい」と、みんなで具体的に考えていくのが望ましいと思います。

子どもたちには、下町の粋な気質と都市のモダンなメンタリティーを兼ね備えた、中央区ならではの地域文化を意識した学校生活を過ごしてほしい。大人になってからのことは、周りの大人たちが意識してプラスになることをやってくれるから、「夢や未来」を意識せず、なによりも「今」を大切に重ねてほしいと思います。

教育委員の主な活動状況

- ◆ 区民スポーツの日(平成26年10月13日) * 鳥島運動場ほか
- ◆ 久松小学校・幼稚園研究発表会(平成26年10月16日)
- ◆ 子どもフェスティバル(平成26年10月19日)
* 総合スポーツセンターほか
- ◆ 平成26年第10回定例会および研修会(平成26年10月22日)
- ◆ 阪本小学校研究発表会(平成26年10月23日)
- ◆ 明正小学校・幼稚園落成式(平成26年10月25日)
- ◆ 豊海幼稚園研究発表会(平成26年10月28日)
- ◆ 教育委員会管外視察(平成26年10月29日・30日) * 京都府
- ◆ 銀座中学校周年記念式典(平成26年11月1日)
- ◆ 各種功労者表彰式(平成26年11月3日) * 銀座プロッサム
- ◆ 常盤小学校研究発表会(平成26年11月7日)
- ◆ 大阪佃小学校・東京佃島小学校交流50周年記念式典(平成26年11月8日) * 佃島小学校
- ◆ 平成26年第11回定例会および研修会(平成26年11月12日)
- ◆ 日本橋中学校周年記念式典(平成26年11月15日)
- ◆ 還暦のつどい(平成26年11月23日) * 銀座プロッサム
- ◆ 教育会研究発表会・小学校(平成26年12月3日) * 豊海小学校
- ◆ 平成26年第12回定例会および研修会(平成26年12月10日)
- ◆ 仕事始め式(平成27年1月5日)
- ◆ 新成人のつどい(平成27年1月12日) * ロイヤルパークホテル
- ◆ 平成27年第1回定例会および研修会(平成27年1月14日)
- ◆ PTA連合会新年賀詞交歓会(平成27年1月16日)
* 銀座プロッサム
- ◆ まちかど教育委員会(平成27年1月19日) * 常盤小学校
- ◆ 教育会研究発表会・中学校(平成27年1月21日) * 教育センター
- ◆ 銀座中学校研究発表会(平成27年1月23日)
- ◆ 教育会研究発表会・幼稚園(平成27年1月28日) * 教育センター
- ◆ 晴海中学校研究発表会(平成27年1月30日)

中央区教育振興基本計画の改訂について

平成22年3月に策定された中央区教育振興基本計画が今年度で前期5年間の経過することから、これまでの個別施策の進捗状況や達成度を検証するとともに、本区の教育環境や社会情勢の変化等を踏まえて、平成27年度からの後期5年間の取組について下記のとおり改訂作業を行っています。

中央区教育振興基本計画改訂検討委員会開催状況

	日時	内容
第1回検討会	平成26年 7月 1日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ● 中央区教育振興基本計画の改訂について ● 本検討委員会の設置等について ● 委員長及び副委員長の決定について ● 前期5年間の進捗状況について
第2回検討会	平成26年10月23日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ● 中央区教育振興基本計画(前期)の状況について ● 改訂中央区教育振興基本計画の概要について ● 後期5年間で重点的に取り組む施策について
第3回検討会	平成26年11月17日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ● 改訂中央区教育振興基本計画中間報告(案)について
第4回検討会	平成27年 1月29日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ● パブリックコメントの結果について ● 改訂中央区教育振興基本計画最終報告(案)について

英語を話そう! 科学や自然に興味をもとう!

近年、学校には、グローバル化に対応した国際教育の充実や科学技術の土台となる理数教育の充実が求められています。そこで、本区では、学識経験者をはじめ地域・学校関係者による「中央区国際教育推進検討委員会」と「中央区理数教育推進検討委員会」をそれぞれ立ち上げ、議論を重ねているところです。また、国際教育では常盤小学校、理数教育では城東小学校をパイロット校に指定し、さまざまな取組を行っています。

「目指せ! 英語を話すことができる子」

常盤小学校の主な取組

- 英語活動の充実
英語でのダンスやバレーボール
オーストラリアの中学生との交流
マレーシア教育視察団との交流
- 英語活動の授業時間数の増加
全学年、年間35時間増(1・2年:46時間/3~6年:70時間)
- 企業や地域等の外部との連携
アニメーションを活用した英語の授業
- イングリッシュパーク(英語教室)の設置
絵本やアルファベットカード等を充実



英語活動の授業風景

「目指せ! 科学や自然の大好きな子」

城東小学校の主な取組

- サイエンスキャンプの実施
エネルギーと自然環境の関わりを学ぼう
川に住む生き物を調べよう
- 大学との連携による実験教室
アミノ酸の結晶を作ってみよう
- 企業との連携による環境授業
使用済てんぷら油でエンジンを動かそう
- 科学館等との連携
国立科学博物館や科学技術館で学ぼう



大学との連携による実験教室

露頭での化石採取

教育委員会

京都府の学校を訪ねて...

同志社国際学院初等部・立命館小学校

平成26年度の教育委員会管外視察。教育委員会と区立小中学校の代表校長とで京都府にある2校を視察しました。今年度は、「国際・理数教育の取組について」を視察テーマとし、各校の取組を本区においてどのように取り入れるかを考えながらの視察となりました。同志社国際学院初等部では、特色のある教育プログラムの開発の説明や授業での英語の取り入れ方を、立命館小学校では、ICT機器を活用した授業見学をはじめ、ロボティクス科の授業の運用方法、英語授業でのモジュールの実践等について視察しました。

自ら考え発信する力の育成

有馬小学校 校長 大橋 稔



11月12日付のある新聞に次のような記事が掲載されていました。

『総合的な学習の時間で「自ら課題を立てて情報を集めて整理し、発表するなど学習に取り組んできた」子は、取り組んでこなかった子に比べて、全国学力調査の応用問題（B問題）の正答率で国語および算数とも19ポイント上回っていた。』

要するに、子どもたちが、自らやるべきことを考えて行動し、発表に向けてどう表現すれば伝わるかを考え、自分の思いを友達にしっかりと伝えることに真剣に取り組めば、さまざまな課題に対応する

力を身に付けることができるということです。

今回視察させていただいた「同志社国際学院初等部」では、国際社会で活躍するツールの一つを英語と捉え、6年間を通してすべての授業の55%を英語で、残りの45%を日本語で指導しているそうです。実際に授業を参観させていただいても、5年生の算数を英語で行い、子どもたちも英語で活発に応えていました。

また「立命館小学校」では、開校当初から教育のデジタル化を重視しているそうです。今回の視察でも、4年生の算数の授業では全員がタブレット

PCを操作し、自分の考えをタブレットPCに書き込むと、クラス全員の考えが前面のホワイトボードに映し出されるとともに、個別の考えを大映しすることもでき、互いの考えを共有しながら授業が進められていました。

このように、両校とも学校の独自性を出しながら、子どもたちが自ら考え、自己を表現する力を

育てようとさまざまな取組をしていました。今回の視察で得たことを、今後、区内の国際教育理数

教育でも参考にさせていただき、子どもたちが、自ら考え発信する力を育てていきたいと思えます。

視察を終えて

佃中学校 校長 加藤 譲司

同志社国際学院初等部と立命館小学校は、世界で活躍できる人づくりを目標にして設立された教育課程特例校です。初等部と国際部の2つの学校が併設されている同志社国際学院初等部では、異なる文化的背景を持つ子どもたちが言語や文化の違いを乗り越えた友情を育てることが期待されています。そして国際バカロレア[※]に準拠した教育プログラムのもと、英語で展開される探求型の授業は、各教科をつなぎ課題をさまざまな角度から考え、調べ話し合い発表する総合的な学習です。また、オールイングリッシュで行われている各教科の授業では、英語力（語彙・リーディング・発話・ライティング）だけではなく世界標準の表現力や思考力等も育んでいます。

次に訪れた立命館小学校は、廊下と教室の間に壁のない開放感のある広々とした教室が印象的でした。毎日10分間行われる英語モジュール授業で



同志社国際学院初等部
トム・マーナー教頭からの説明



立命館小学校
ロボティクス科の授業



※国際バカロレア機構が提供する国際的な教育プログラムで、世界の複雑さを理解し、対処できる生徒を育成し、未来責任ある行動をとるための態度とスキルを身に付けさせるとともに、国際的に通用する大学入学資格（国際バカロレア資格）を与え、大学進学へのルートを確保することを目的として設置しています。都立国際高校では平成27年度入学生から海外大学進学を視野に入れて「国際バカロレア」のコースがスタートします。

中学校連合音楽会

12月2日(火)、銀座プロッサムにおいて、区立中学校の2年生が集い、中学校連合音楽会が開催されました。全員合唱「そのままの君で」の素晴らしいハーモニーがホールいっぱいに響き渡り、音楽会が始まりました。そして、日々練習に励んできた合唱を各校2曲発表しました。各校が心の込もった歌声を発表し、生徒たちは歌うことの喜びを分かち合いました。発表後、講師の金澤智恵子先生による講評と合唱教室では、先生の丁寧な指導に、生徒たちは合唱の表現力を高めようと熱心に聴き入っていました。



音楽会の後半は、特別演奏として、東京オペラ合唱団をお迎えし、オペラ「カルメン」 「椿姫」など6曲を鑑賞しました。プロならではのダイナミックな声量と表現豊かな演奏に、会場は一気に魅了されました。司会の西島氏から、オペラを身近に楽しめる説明や演奏曲の解説があり、生徒たちは情景を思い浮かべながら演奏を堪能することができました。

音楽会の後半は、特別演奏として、東京オペラ合唱団をお迎えし、オペラ「カルメン」 「椿姫」など6曲を鑑賞しました。プロならではのダイナミックな声量と表現豊かな演奏に、会場は一気に魅了されました。司会の西島氏から、オペラを身近に楽しめる説明や演奏曲の解説があり、生徒たちは情景を思い浮かべながら演奏を堪能することができました。

オリンピックアスリート 伊藤華英さん(水泳女子日本代表)による一日校長先生

平成26年9月22日(月)、中央小学校では、北京オリンピック背泳ぎ代表・ロンドンオリンピック自由形代表として2大会に出場した伊藤華英選手を「一日校長先生」にお迎えしました。講演では、背泳で頭角を現したあと確実視されていたアテネオリンピックで代表にもれた挫折感とそこから這い上がったこと、北京オリンピック後にけがのため種目を変更して2度目のオリンピック出場を勝ち取ったことなど、貴重な体験を通してのお話をいただきました。そして実技指導では、自らプール



に入って水の上を滑るような泳ぎを披露してください、その後、子どもたちの手を取りながら直接教えてくださいました。また、突然のバドミントン大会入賞者の表彰を快く引き受けてくださったり、見学されたマイスクールスポーツの一輪車の練習風景に大きな称賛をいただいたことは子どもたちの確かな自信となりました。子どもたちにとって、オリンピックに、将来に、夢のふくらむ大きな宝物になった一日でした。

第6回中学生「東京駅伝大会」中央区代表チーム、がんばります!

東京都内の2年生を対象に、中学生の健康増進や体力向上、スポーツの振興および競技力の向上を目的として駅伝大会が開催されます。男女各1チームを編成して、区市町村の代表として大会に出場します。昨年度は、残念ながら大雪のため大会が中止となってしまいました。



昨年度の選手の皆さんの気持ちを受け継ぎ、代表選手とスタッフが一つになり、一本のタスキを心を込めてつなぎます。一人ひとりが自分の役割を果たし、チームとして最高の成果を出せるよう精一杯頑張ります。応援をよろしくをお願いします。

日程 平成27年2月8日(日)
女子の部スタート 午前10時 男子の部スタート 午後1時

会場 味の素スタジアム・都立武蔵野の森公園
特設周回コース(京王線 飛田給駅)

実施種目 男子の部(選手数17人・補員4人)制限時間3時間以内
《距離:42.195km》第1区2.195km 第2区~第9区2km 第10区~第17区3km
女子の部(選手数16人・補員5人)制限時間2時間以内
《距離:30km》第1区~第10区1.5km 第11区~第16区2.5km

候補選手名(男子21名 女子21名)※敬称略

	男子選手	女子選手
銀座中	梶川 心	出口 舞
	高本 慶太郎	秋山 万優子
	三宅 一輝	正木 菜穂
	飯野 雅也	関山 絢
	後藤 健太	中村 莉緒
	吉田 大輝	齋藤 絵夢
佃中	内田 維成	東海林 怜水
	豊 航太	内藤 華
	有田 薫弥	薦原 美莉華
	尾形 圭	藤野 千尋
	田代 龍平	村井 美乃利
	梶本 涼太	西村 南美
晴海中	井ノ本 航希	小泉 沙耶
	今井 翔一	松木 紀世香
	深澤 龍雅	横山 千尋
	松木 菜大	金子 りお
	熊谷 侑也	木藤 紫乃
	宇田川 仁	高橋 陽乃
日本橋中	大山 貴月彦	神山 梨乃
	萩原 秀文	三室 奈央
	森井 太一	斉脇 幸香

ソフトバレーボール in English!



平成26年9月から10月にかけて、常盤小学校では5・6年生合同での体育の時間にソフトバレーボールを行いました。講師は、1992年バルセロナオリンピックでバレーボールのアメリカ代表として出場し、銅メダルを獲得したヨーコ ゼッターランドさんです。授業時間内は全て英語で指導するヨーコ先生の話や、子どもたちは一生懸命聞きながら取り組みました。6時間を通して教えていただいたおかげで、子どもたちもボールの扱いが非常に上手になりました。中学校ではバレーボール部に入りたいという児童も出てきました。



授業後、ヨーコ先生は子どもたちと一緒に給食を食べました。子どもたちは、ヨーコ先生とのふれあいを通してオリンピック選手の素晴らしさを感じるとともに、銅メダルやアメリカチームのユニフォームを見せていただき、オリンピックを身近に感じることができました。

ヨーコ先生からは以下の言葉を教えていただきました。

「There is no I in team.」(TEAMという単語にIの文字は入っていない。自分のことよりも、全てはTEAMのために。)

この授業を通して、バレーボールの楽しさを学ぶとともに、仲間を思いやり助け合う姿勢の大切さを学ぶことができました。

中央区地域家庭教育推進協議会からのお知らせ

①子育てキャンパス発達障害を考える講座

「人とうまくつきあうヒントを探そう!～発達障害の生きづらいつい気持ちを考える～」
 発達障害がありつつ、家庭をもち、社会で活躍している講師を招き、発達障害と判明するまでの学校生活や人間関係の苦労、判明し対処することで好転した現在の生き方について、家庭教育の視点から実体験を踏まえて語っていただきます。

日時 平成27年2月24日(火) 午後2時から4時
会場 教育センター(中央区保健所等複合施設)5階 視聴覚ホール
対象 発達障害への理解を深めたい方
講師 有限会社アズ代表取締役 アズ 直子氏
定員 50名(申込多数の場合抽選)

②家庭教育講演会

「子どもの発達と睡眠 -ウサギとカメの寓話の罪!?-」

早起き・早寝、睡眠が大切なのは誰もが知っています。では、どうして大切なかを子どもたちに説明できますか?
 大人にとっても大切な睡眠。生活リズムの乱れがもたらすさまざまな事例を交えながら、生活習慣と子どもの発達の関係などを科学的に解明します。講演会を機会に「なんとなくわかっている」親から「お子さんに説明できる」親になりませんか。

日時 平成27年3月1日(日) 午後2時から4時
会場 月島社会教育会館(月島区民センター)4階 ホール
対象 小学生の保護者および子育てに関心のある方
講師 東京ベイ・浦安市川医療センターCEO 神山 潤氏
定員 200名(先着順)



平成25年度家庭教育講演会

【申込方法】

- ①「子育てキャンパス発達障害を考える講座」は2月17日(火)までに電話または電子申請で申込む(申込多数の場合抽選)。
- ②「家庭教育講演会」は2月2日(月)から電話で申込む(先着順)。
※電話は平日午前9時から午後5時まで

【託児】

1歳以上の未就学児をお預かりします。希望者は申込時にお子さんの氏名、年齢をお知らせください(託児定員30名)。

【申込み・問合せ先】

中央区地域家庭教育推進協議会事務局(文化・生涯学習課内)
 ☎3546-5526

こども電話相談

中央区立教育センター教育相談室では、こども電話相談を実施しています。何か困ったことや、誰にも相談できなくて悩んでいることはありませんか? そんな時は電話をしてください。一人で悩まず、一緒に考えましょう。

電話番号 3545-9203
相談できる日 月曜日～土曜日(祝日を除く)
時間 午前9時～午後5時

友達とうまくあそべない。仲間はズレにされる。

家庭や学校での生活に悩みがある。

だれに相談していいかわからない。

など、どんなことでも大丈夫です。

いじめなど、困っていることをご相談ください

お子さん自身が、またはお子さんのことで、困ったり悩んだりしていることはありませんか? どのようなご相談でも結構です。お気軽にご相談ください。

●中央区立教育センター 教育相談室(中央区明石町12-1)
 教育相談員が、幼児から高校生までのお子さんについてのさまざまな相談に応じています。

【相談日時】
 毎週月～土曜日(祝日を除く) 午前9時～午後5時

電話相談 ☎3545-9203
来所相談 ☎3545-9200(事前に電話で予約してください。)

●東京都いじめ相談ホットライン
 幼児から高校生相当年齢の方を対象に、いじめに関する相談に24時間対応で応じています。
 ☎5800-8288

●24時間いじめ相談ダイヤル(全国統一ダイヤル)
 全国どこからでも、夜間・休日を含めて24時間対応で相談に応じています。
 ☎0570-0-78310

プレデイのご案内

プレデイは放課後の子どもたちの居場所です。夏休みや冬休みなどの長期学校休業日も日曜日・祝日以外は開設しています。平成17年度に小学校2校で始まったプレデイですが、10年目を迎えた平成26年度には12校で実施しています。プレデイの運営にあたり、地域の方々、保護者の皆さまのご支援・ご協力ありがとうございます。これからもよろしくお願いたします。

現在、学童クラブでは待機児が増加しており、教育委員会においても学童クラブ待機児解消に向けてより一層の連携を図るため、学童クラブ同様、プレデイ開設時間の延長やそれに伴う有料化の導入など、平成27年度からの拡充を予定しています。
 平日は放課後から午後7時30分まで、土曜日は午前8時30分から午後6時まで、長期休業日の平日は午前8時30分から午後7時30分まで開設する予定です。ただし、午

サポーター大募集!

後5時以降については、保護者が就労などの事情がある方が対象です。また、午後6時以降については、1回400円(月上限5000円)の利用料(予定)がかかります。

プレデイの運営にあたっては「地域ぐるみで健全育成、地域の子どもは地域で育てよう!」という趣旨のもと、保護者や地域の方などにサポーターとしてご協力をいただいています。

プレデイへ参加できるのは子どもたちだけではありません。大人(高校生以上)の方々もサポーターとしてご参加いただけます。

ぜひ、子どもたちの遊び相手、話し相手としてプレデイにご参加ください。

皆様の来室をお待ちしています。



ニュースポーツ(キンボール)



ハロウィン工作